

『Fine祭り2009 そこが知りたい! 不妊』 ご来場の皆さんへのメッセージ

日本では、年間の体外受精実施件数が16万件となり世界1位となりました。その背景には、医療技術の発展が大きく影響していることは言うまでもありません。ひと昔前の治療がない時代から比べると、「子を産む」ことに希望を持てるチャンスが増えたことは、大変素晴らしいことだと思います。

その反面、「不妊」や「不妊治療」に関して、まだまだ認識や知識が不十分な面も多くあります。また不妊の原因は女性だけでなく、もはや男性にあるケースも少なくない現状もあり、子を望むカップルの数だけ悩みも様々です。

不妊治療の精神的・体力的な辛さは、やはり経験した人でなければ理解されない事が多く、一人で悩みを抱えている方も多くいらっしゃると思います。その様な悩みの中にいらっしゃる方は、NPO法人Fineの活動を通し、また参加することで、同じ経験を持つ方々と問題や悩みを共有し、「悩んでいるのは一人ではない!」と実感することで精神的負担が軽減できるのではないかと信じています。

「不妊治療の保険適用」・「職場や周囲から不妊治療での通院を快く思ってもらえるような環境の構築」・「不妊予防への研究の拡大」等、まだまだ改善すべき問題は沢山あります。私も皆さんと同じ不妊治療経験を持つ一人として、これからも皆様と共に悩みを共有し、共に歩いていけたらと願っております。

衆議院議員 **野田聖子**

TOPICS

野田聖子議員は、NPO法人Fineの名誉会員第1号です(2004年10月より)。本年2月には名誉会員証と記念の盾を贈呈しました。また、本年6月には、野田議員が呼びかけ人となり、NPO法人Fine主催の「不妊治療に関する勉強会」を衆議院第1議員会館にて開催。党派を超えて58名もの議員の方々(代理含む)がご出席くださいました。

▶ P11

